

結果の概要

刑務所・拘置所等

1 被収容者

(1) 収容状況

最近10年間の全国の刑務所及び拘置所の1日平均収容人員の推移は、第1表のとおりである。平成5年に増加に転じて以降、年々増加していたが、同20年から連続して減少しており、同21年は同20年に比べ2,514人(3.2%)減少した76,019人(男70,794人、女5,224人)となっている。

第1表 1日平均収容人員の推移

区分	平成12年	13	14	15	16	17	18	19	20	21
総数	58,747	63,415	67,354	71,889	75,289	77,932	80,335	80,684	78,533	76,019
男	55,563	59,927	63,614	67,768	70,887	73,238	75,331	75,490	73,271	70,794
女	3,184	3,488	3,740	4,121	4,402	4,694	5,003	5,194	5,262	5,224
対前年比	8.9	7.9	6.2	6.7	4.7	3.5	3.1	0.4	-2.7	-3.2

(注) 刑務所・拘置所等(以下第31表まで同じ。)の2表(法務省ホームページにおける統計表番号「09-00-02」, 以下同様。)参照

平成21年における1日平均収容人員の内訳は、第2表のとおりである。被収容者の種別で見ると、受刑者が66,777人(87.8%),次いで、被告人が7,869人(10.4%),労役場留置者が1,175人(1.5%)の順となっている。

第2表 1日平均収容人員の内訳

区分	総数	受刑者	死刑確定者	被告人	被疑者	労役場留置者	その他
人員	76,019	66,777	100	7,869	92	1,175	6
(構成比)	(100.0)	(87.8)	(0.1)	(10.4)	(0.1)	(1.5)	(0.0)
対前年比	-3.2	-3.2	-2.9	-4.7	16.5	10.0	-

(注) 1表(「09-00-01」)及び2表(「09-00-02」)参照

(2) 年末収容人員

最近10年間の年末における収容人員の推移は、第3表のとおりである。収容率(年末における収容定員(病舎の定員を除く。)に対する年末収容人員の比率)は、平成13年から同18年まで6年連続して100%を超過していたが、刑務所の新設等による収容定員の増員を行ったことから、同19年から3年連続して収容定員を下回ることとなった。

第3表 年末収容人員の推移

区分	平成12年	13	14	15	16	17	18	19	20	21
年末収容人員	61,242	65,508	69,502	73,734	76,413	79,055	81,255	79,809	76,881	75,250
収容定員	64,194	64,727	65,264	69,694	72,182	76,043	79,375	85,214	87,754	90,354
収容率	95.4	101.2	106.5	105.8	105.9	104.0	102.4	93.7	87.6	83.3

(注) 3表(「09-00-03」)参照

(3) 入・出所人員

最近10年間の入・出所人員の推移は、第4表のとおりである。刑務所及び拘置所の入所人員は、平成16年以降減少し、同21年は同20年に比べ1,486人(2.7%)減少した53,437人(男49,321人、女4,116人)となっている。出所人員も、平成17年以降減少し、同21年は同20年に比べ2,783人(4.8%)減少した55,068人(男50,945人、女4,123人)となっている。

第4表 入・出所人員の推移

区分	平成12年	13	14	15	16	17	18	19	20	21
入所人員 (指数)	58.201 (100)	59.827 (103)	63.485 (109)	67.979 (117)	67.612 (116)	65.857 (113)	62.804 (108)	57.491 (99)	54.923 (94)	53.437 (92)
出所人員 (指数)	53.092 (100)	55.561 (105)	59.489 (112)	63.748 (120)	64.933 (122)	63.215 (119)	60.604 (114)	58.937 (111)	57.851 (109)	55.068 (104)

(注) 14表(「09-00-14」)参照

(4) 外国人被收容者

最近10年間の年末収容人員のうち、外国人被收容者人員の推移は、第5表のとおりである。平成21年の年末における外国人被收容者人員は、同20年に比べ326人(6.1%)減少した5,027人となり、外国人受刑者人員は、310人(6.6%)減少した4,371人となっている。

第5表 年末収容人員のうち外国人被收容者人員の推移

区分	平成12年	13	14	15	16	17	18	19	20	21
年末収容人員(A)	61,242	65,508	69,502	73,734	76,413	79,055	81,255	79,809	76,881	75,250
うち、外国人被 收容者人員(B)	4,385	4,801	5,092	5,668	6,020	6,183	6,179	5,919	5,353	5,027
うち、外国人受 刑者人員	3,237	3,535	3,892	4,326	4,832	5,177	5,216	5,139	4,681	4,371
年末収容人員に 占める比率 [(B)/(A)]	7.2	7.3	7.3	7.7	7.9	7.8	7.6	7.4	7.0	6.7

(注) 3表(「09-00-03」)及び8表(「09-00-08」)参照

平成21年の年末在所外国人被收容者の内訳は、第6表のとおりである。

このうち、来日外国人は3,667人であり、外国人被收容者年末収容人員に占める割合は72.9%となっている。

第6表 年末在所外国人被收容者の内訳

区分	総数	受刑者	未決拘禁者	その他
外国人被收容者 年末収容人員	5,027	4,371	533	123
うち、来日外国人	3,667	3,185	388	94

(注) 8表(「09-00-08」)及び9表(「09-00-09」)参照

平成21年の年末在所来日外国人被收容者の国籍は、第7表のとおりである。国籍別の人員総数は、中国が1,413人(38.5%)と最も多く、次いで、ブラジルが483人(13.2%)、イランが462人(12.6%)、韓国・朝鮮が226人(6.2%)の順となっている。

第7表 年末在所来日外国人被收容者の国籍

区分	総数	中国	ブラジル	イラン	韓国・朝鮮	ベトナム	フィリピン	ペルー	コロンビア	タイ	ナイジェリア	アム州合衆国	その他
人員総数	3,667	1,413	483	462	226	167	139	94	66	60	56	39	462
男女	3,318 349	1,294 119	466 17	462 -	178 48	141 26	98 41	86 8	55 11	37 23	56 -	38 1	407 55
構成比	100.0	38.5	13.2	12.6	6.2	4.6	3.8	2.6	1.8	1.6	1.5	1.1	12.6
男女	100.0 100.0	39.0 34.1	14.0 4.9	13.9 -	5.4 13.8	4.2 7.4	3.0 11.7	2.6 2.3	1.7 3.2	1.1 6.6	1.1 -	1.1 0.3	12.3 15.8

(注) 9表(「09-00-09」)参照

2 新受刑者

(1) 新受刑者の収容状況

最近10年間の新受刑者人員の推移は、第8表のとおりである。新受刑者人員の総数は平成4年から同18年まで15年連続して増加していたが、平成19年から3年連続して減少しており、同21年は同20年と比べ670人（2.3%）減少した28,293人（男26,123人、女2,170人）となっている。

第8表 新受刑者人員の推移

区分	分員数	平成12年	13	14	15	16	17	18	19	20	21
区人総	員数	27,498	28,469	30,277	31,355	32,090	32,789	33,032	30,450	28,963	28,293
	男	26,030	26,907	28,572	29,488	30,089	30,607	30,699	28,272	26,768	26,123
	女	1,468	1,562	1,705	1,867	2,001	2,182	2,333	2,178	2,195	2,170
指総	数	100	104	110	114	117	119	120	111	105	103
	男	100	103	110	113	116	118	118	109	103	100
	女	100	106	116	127	136	149	159	148	150	148

(注) 18表（「09-00-18」）参照

(2) 新受刑者の年齢

平成21年における新受刑者の年齢別人員は、第9表のとおりである。これを総数の構成比で見ると、35～39歳が14.6%（4,125人）と最も高く、次いで、40～44歳が13.0%（3,684人）、30～34歳が12.9%（3,657人）の順となっている。

第9表 新受刑者の年齢別人員

区分	分員数	総数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
区人総	員数	28,293	54	1,799	3,210	3,657	4,125	3,684	2,993	2,276	2,439	1,956	1,228	872
	男	26,123	54	1,691	3,001	3,319	3,767	3,417	2,786	2,122	2,293	1,789	1,116	768
	女	2,170	0	108	209	338	358	267	207	154	146	167	112	104
構総	成比	100.0	0.2	6.4	11.3	12.9	14.6	13.0	10.6	8.0	8.6	6.9	4.3	3.1
	男	100.0	0.2	6.5	11.5	12.7	14.4	13.1	10.7	8.1	8.8	6.8	4.3	2.9
	女	100.0	-	5.0	9.6	15.6	16.5	12.3	9.5	7.1	6.7	7.7	5.2	4.8
前総	年比	-2.3	-14.3	-7.3	-0.8	-1.7	-4.8	2.4	1.4	-4.0	-10.7	1.6	0.5	0.2
	男	-2.4	-11.5	-6.7	-0.6	-2.1	-5.0	2.9	1.2	-4.0	-10.5	0.3	0.0	-0.4
	女	-1.1	-100.0	-15.0	-4.6	2.4	-2.5	-2.9	4.0	-4.3	-13.1	17.6	5.7	5.1

(注) 22表（「09-00-22」）参照

また、最近10年間の新受刑者のうち60歳以上人員の推移は、第10表のとおりであり、年々増加している。

第10表 新受刑者のうち60歳以上人員の推移

区分	分員数	平成12年	13	14	15	16	17	18	19	20	21
区人総	員数	2,130	2,337	2,604	2,929	3,129	3,460	3,717	3,727	4,017	4,056
	男	2,009	2,232	2,437	2,747	2,920	3,229	3,417	3,437	3,670	3,673
	女	121	105	167	182	209	231	300	290	347	383
構総	成比	7.7	8.2	8.6	9.3	9.8	10.6	11.3	12.2	13.9	14.3
	男	7.7	8.3	8.5	9.3	9.7	10.5	11.1	12.2	13.7	14.1
	女	8.2	6.7	9.8	9.7	10.4	10.6	12.9	13.3	15.8	17.6

(注) 22表（「09-00-22」）参照

(3) 新受刑者の罪名

平成21年における新受刑者の罪名別人員は、第11表のとおりである。これを、罪名別の総数の構成比で見ると、窃盗が32.8%（9,293人）と最も高く、次いで、覚せい剤取締法違反が21.5%（6,086人）、詐欺が8.9%（2,518人）、傷害が5.8%（1,631人）、道路交通法違反が5.5%（1,563人）、強盗が3.8%（1,063人）の順となっている。

第11表 新受刑者の罪名別人員

区	分	総数	構成比	男	構成比	女	構成比
総		28,293	100.0	26,123	100.0	2,170	100.0
刑	法	19,028	67.3	17,783	68.1	1,245	57.4
放	火	198	0.7	170	0.7	28	1.3
文書偽造・有価証券偽造・支払用							
カード電磁的記録関係・印章偽造		265	0.9	236	0.9	29	1.3
強制わいせつ・強姦		730	2.6	729	2.8	1	0.0
賭博・富くじ		32	0.1	32	0.1	-	-
殺	人	415	1.5	335	1.3	80	3.7
傷	害	1,631	5.8	1,591	6.1	40	1.8
危険運転致死		61	0.2	60	0.2	1	0.0
業務上過失致死		346	1.2	322	1.2	24	1.1
窃	盗	9,293	32.8	8,513	32.6	780	35.9
強	盗	1,063	3.8	1,030	3.9	33	1.5
詐	欺	2,518	8.9	2,354	9.0	164	7.6
恐	喝	488	1.7	479	1.8	9	0.4
横	領	405	1.4	375	1.4	30	1.4
暴力行為等処罰に関する法律		233	0.8	230	0.9	3	0.1
その他		1,350	4.8	1,327	5.1	23	1.1
特	別	9,265	32.7	8,340	31.9	925	42.6
銃砲刀剣類所持等取締法		164	0.6	161	0.6	3	0.1
売春防止法		39	0.1	27	0.1	12	0.6
麻薬及び向精神薬取締法		57	0.2	51	0.2	6	0.3
覚せい剤取締法		6,086	21.5	5,297	20.3	789	36.4
道路交通法		1,563	5.5	1,508	5.8	55	2.5
出入国管理及び難民認定法		125	0.4	95	0.4	30	1.4
その他		1,231	4.4	1,201	4.6	30	1.4

(注) 1 「強制わいせつ・強姦」には、それぞれの致死傷を、「傷害」には、傷害致死及び暴行を、「業務上過失致死傷」には、重過失致死傷及び自動車運転過失致死傷を、「強盗」には、強盗致死傷及び強盗強姦・同致死を含む。
2 18表（「09-00-18」）参照

さらに、男女別に上位5位までの罪名で見ると、男は、窃盗、覚せい剤取締法違反、詐欺、傷害、道路交通法違反の順で、平成20年と比べて傷害が道路交通法違反より上位に挙がっており、女は、覚せい剤取締法違反、窃盗、詐欺、殺人、道路交通法違反の順となっており、同20年と比べて覚せい剤取締法違反が窃盗より上位に挙がっている。女の場合、覚せい剤取締法違反及び窃盗の構成比がそれぞれ30%以上を占めているとともに、上位に殺人が挙がっている点が大きな特徴である。

なお、最近10年間の新受刑者のうち、覚せい剤取締法違反の人員の推移は、第12表のとおりであり、平成21年は、同20年より147人減少している。

第12表 新受刑者のうち覚せい剤取締法違反の人員の推移

区	分	平成12年	13	14	15	16	17	18	19	20	21
人											
総	員数	7,375	7,280	7,062	6,774	6,165	6,960	6,802	6,125	6,233	6,086
男		6,679	6,555	6,349	6,065	5,456	6,193	6,018	5,385	5,460	5,297
女		696	725	713	709	709	767	784	740	773	789
構											
成	比										
総	数	26.8	25.6	23.3	21.6	19.2	21.2	20.6	20.1	21.5	21.5
男		25.7	24.4	22.2	20.6	18.1	20.2	19.6	19.0	20.4	20.3
女		47.4	46.4	41.8	38.0	35.4	35.2	33.6	34.0	35.2	36.4

(注) 1 構成比は新受刑者の人員に占める比率である。
2 18表（「09-00-18」）参照

(4) 新受刑者の刑名・刑期

平成21年における新受刑者の刑名別人員は、第13表のとおりである。

第13表 新受刑者の刑名別人員

区	分	総	数	懲	役	禁	錮	拘	留	死	刑
人	員		28,293		28,083		191		12		7
(構	成	(100.0)		(99.3)		(0.7)		(0.0)		(0.0)

(注) 19表(「09-00-19」)参照

このうち、懲役及び禁錮受刑者の刑期別人員は、第14表のとおりである。懲役受刑者の刑期別人員は、2年以下が10,299人(36.7%)と最も多く、次いで、3年以下が6,371人(22.7%)、1年以下が6,018人(21.4%)となっている。禁錮受刑者については、2年以下が100人(52.4%)と最も多い。

第14表 新受刑者のうち懲役及び禁錮受刑者の刑期別人員

区	分	総	数	1年	2年	3年	5年	5年	無	期
懲	役		28,083	6,018	10,299	6,371	3,609	1,705		81
人	員	((100.0)	(21.4)	(36.7)	(22.7)	(12.9)	(6.1)		(0.3)
(構	成								
禁	錮		191	41	100	40	8	2		-
人	員	((100.0)	(21.5)	(52.4)	(20.9)	(4.2)	(1.0)		(-)
(構	成								

(注) 19表(「09-00-19」)参照

(5) 新受刑者の入所度数

平成21年における新受刑者の入所度数別人員は、第15表のとおりである。

第15表 新受刑者の入所度数別人員

区	分	総	数	初	度	2	度	3	度	4	度	5	度	6	度	以上
人	員		28,293	12,775	5,095	3,141	1,970	1,334	3,978							
(構	成	100.0	45.2	18.0	11.1	7.0	4.7	14.1							
対	前	年	-2.3	-4.3	-0.7	2.1	-1.2	-	-1.8							

(注) 23表(「09-00-23」)参照

次に、最近10年間の新受刑者のうち、初入者及び再入者人員の推移は、第16表のとおりである。初入者は、平成5年以降増加傾向を示していたが、同17年から減少し始めた。また、平成18年から4年連続して再入者が初入者を上回っている。

第16表 新受刑者のうち初入者・再入者人員の推移

区	分	平成12年	13	14	15	16	17	18	19	20	21
総	数	27,498	28,469	30,277	31,355	32,090	32,789	33,032	30,450	28,963	28,293
初	入	13,371	14,294	15,402	16,261	16,591	16,573	16,504	14,863	13,347	12,775
(構	成	(48.6)	(50.2)	(50.9)	(51.9)	(50.5)	(50.0)	(48.8)	(46.1)	(45.2)
再	入	14,127	14,175	14,875	15,094	15,499	16,216	16,528	15,587	15,616	15,518
(構	成	(51.4)	(49.8)	(49.1)	(48.1)	(48.3)	(49.5)	(50.0)	(51.2)	(53.9)

(注) 23表(「09-00-23」)参照

(6) 新受刑者のうち初入受刑者の保護処分歴・刑の執行猶予歴

平成21年の新受刑者のうち、初入受刑者の保護処分歴・刑の執行猶予歴別人員は、第17表のとおりである。保護処分歴を有する者は1,921人（15.0%）、刑の執行猶予歴を有する者は8,026人（62.8%）となっている。

第17表 初入受刑者の保護処分歴・刑の執行猶予歴別人員

区分	総数	保護処分歴				刑の執行猶予歴		
		あり	なし	あり	なし	あり	なし	なし
人員	12,775	1,921	10,854	26	819	10,854	8,026	4,749
(構成比)	(100.0)	(15.0)	(84.0)	(0.2)	(6.4)	(85.0)	(62.8)	(37.2)

(注) 30表(「09-00-30」)参照

(7) 新受刑者のうち暴力団加入者人員

最近10年間の新受刑者のうち、暴力団加入者人員の推移は、第18表のとおりである。平成21年は同20年に比べ305人減少した2,960人となっており、新受刑者に占める構成比も0.8%低下した10.5%となっている。

第18表 新受刑者のうち暴力団加入者人員の推移

区分	平成12年	13	14	15	16	17	18	19	20	21
総数	27,498	28,469	30,277	31,355	32,090	32,789	33,032	30,450	28,963	28,293
人員	3,747	3,633	3,628	4,309	4,244	4,612	4,143	3,665	3,265	2,960
(構成比)	(13.6)	(12.8)	(12.0)	(13.7)	(13.2)	(14.1)	(12.5)	(12.0)	(11.3)	(10.5)

(注) 46表(「09-00-46」)参照

3 再入受刑者

(1) 再入受刑者の再犯期間

最近10年間の再入受刑者（前刑出所前の犯罪により再入所した者を除く。）の再犯期間（前回の刑の執行を受けて出所した日から再入に係る罪を犯した日までの期間）別人員の推移は、第19表のとおりである。平成21年は1年未満が6,289人（41.0%）と最も多く、次いで、2年未満が3,293人（21.4%）、3年未満が1,820人（11.9%）の順となっている。

第19表 再入受刑者の再犯期間別人員の推移

区分	総数	再犯期間								
		1年未満		2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	5年以上		
		人員	うち、3月未満 人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員
平成12年	13,948	5,504 (39.5)	1,698 (12.2)	2,672 (19.2)	1,523 (10.9)	940 (6.7)	649 (4.7)	2,660 (19.1)		
13	13,990	5,522 (39.5)	1,740 (12.4)	2,659 (19.0)	1,543 (11.0)	880 (6.3)	660 (4.7)	2,726 (19.5)		
14	14,702	5,917 (40.2)	1,870 (12.7)	2,817 (19.2)	1,637 (11.1)	979 (6.7)	677 (4.6)	2,675 (18.2)		
15	14,847	5,912 (39.8)	1,860 (12.5)	3,021 (20.3)	1,637 (11.0)	968 (6.5)	685 (4.6)	2,624 (17.7)		
16	15,258	6,076 (39.8)	1,800 (11.8)	3,194 (20.9)	1,698 (11.1)	1,016 (6.7)	676 (4.4)	2,598 (17.0)		
17	15,997	6,425 (40.2)	2,062 (12.9)	3,306 (20.7)	1,881 (11.8)	1,111 (6.9)	749 (4.7)	2,525 (15.8)		
18	16,361	6,588 (40.3)	1,953 (11.9)	3,327 (20.3)	2,015 (12.3)	1,156 (7.1)	767 (4.7)	2,508 (15.3)		
19	15,402	6,389 (41.5)	1,982 (12.9)	3,244 (21.1)	1,802 (11.7)	1,049 (6.8)	740 (4.8)	2,178 (14.1)		
20	15,443	6,313 (40.9)	1,943 (12.6)	3,245 (21.0)	1,864 (12.1)	1,117 (7.2)	764 (4.9)	2,140 (13.9)		
21	15,355	6,289 (41.0)	1,951 (12.7)	3,293 (21.4)	1,820 (11.9)	1,084 (7.1)	779 (5.1)	2,090 (13.6)		

(注) 54表(「09-00-54」)参照

(2) 再入状況

平成16年の出所受刑者（29,533人）について、同21年末までの再入状況は、第20表のとおりである。平成21年までの6年以内に再入所した者は、計13,143人（44.5%）となっている。また、満期釈放と仮釈放の別に6年以内再入者を比較すると、満期釈放は7,351人（57.3%）、仮釈放は5,792人（34.7%）となっている。

第20表 平成16年出所受刑者の平成21年末までの再入状況

出所事由	平成16年出所受刑者	再入年別人員及び構成比										計		
		平成16年		17		18		19		20			21	
		人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)		人員	(構成比)
総数	29,533	1,610 (5.5)	4,626 (15.7)	3,252 (11.0)	1,798 (6.1)	1,158 (3.9)	699 (2.4)	13,143 (44.5)						
満期釈放	12,836	1,345 (10.5)	2,810 (21.9)	1,588 (12.4)	822 (6.4)	506 (3.9)	280 (2.2)	7,351 (57.3)						
仮釈放	16,690	265 (1.6)	1,816 (10.9)	1,664 (10.0)	976 (5.8)	652 (3.9)	419 (2.5)	5,792 (34.7)						

(注) 63表(「09-00-63」)及び64表(「09-00-64」)参照

(3) 出所後6年以内に再入所した者の推移

出所後6年以内に再入所した者の推移は、第21表のとおりである。再入率については5年連続して低下している。

第21表 出所後6年以内に再入所した者の推移

区分	出所年									
	平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16
出所受刑者	21,371	21,369	21,989	22,240	23,125	23,715	25,714	27,308	28,170	29,533
(うち、再入人員)	(10,500)	(10,246)	(10,606)	(10,812)	(11,545)	(11,602)	(12,188)	(12,594)	(12,751)	(13,143)
再入率	49.1	47.9	48.2	48.6	49.9	48.9	47.4	46.1	45.3	44.5

(注) 63表(「09-00-63」)及び64表(「09-00-64」)参照

4 出所受刑者

(1) 出所受刑者の人員及び出所事由

最近10年間の出所受刑者の出所事由別人員の推移は、第22表のとおりである。平成21年における出所受刑者人員の総数は30,213人であり、同20年に比べ1,467人(4.6%)減少している。これを男女別に見ると、男が28,029人(92.8%)、女が2,184人(7.2%)となっている。さらに、出所事由別に見ると、満期釈放が15,324人(50.7%)、仮釈放が14,854人(49.2%)、国際受刑者移送法による送出受刑者が35人(0.1%)となっている。

第22表 出所受刑者の出所事由別人員の推移

区分	平成12年	13	14	15	16	17	18	19	20	21
人 員 数	23,715	25,714	27,308	28,170	29,533	30,037	30,600	31,341	31,680	30,213
男	22,472	24,327	25,830	26,594	27,782	28,207	28,598	29,187	29,431	28,029
女	1,243	1,387	1,478	1,576	1,751	1,830	2,002	2,154	2,249	2,184
指 数	100	108	115	119	125	127	129	132	134	127
男	100	108	115	118	124	126	127	130	131	125
女	100	112	119	127	141	147	161	173	181	176
出所事由別										
満期釈放 (構成比)	10,459 (44.1)	11,291 (43.9)	11,990 (43.9)	12,386 (44.0)	12,836 (43.5)	13,605 (45.3)	14,503 (47.4)	15,465 (49.3)	15,792 (49.8)	15,324 (50.7)
仮釈放 (構成比)	13,256 (55.9)	14,423 (56.1)	15,318 (56.1)	15,784 (56.0)	16,690 (56.5)	16,420 (54.7)	16,081 (52.6)	15,832 (50.5)	15,840 (50.0)	14,854 (49.2)
送出移送 (構成比)	7 (0.0)	12 (0.0)	16 (0.1)	44 (0.1)	48 (0.2)	35 (0.1)

(注) 67表(「09-00-67」)参照

(2) 出所受刑者のうち仮釈放者の刑の執行状況

a 有期懲役受刑者

平成21年における有期懲役受刑者のうち仮釈放者14,518人(仮釈放が取り消されて刑の執行を受け、さらに仮釈放を許された者を除く。)についての刑の執行率は、第23表のとおりである。刑の執行率80~89%が6,674人(46.0%)と最も多く、次いで、90%以上が4,168人(28.7%)となっている。

第23表 有期懲役受刑者のうち仮釈放者の刑の執行率

区分	総 数	刑 の 執 行 率				
		59%以下	60~69%	70~79%	80~89%	90%以上
人 員	14,518	13	345	3,318	6,674	4,168
(構成比)	(100.0)	(0.1)	(2.4)	(22.9)	(46.0)	(28.7)
対 前 年 比	-6.2	18.2	-31.1	-15.2	-2.0	-1.7

(注) 70表(「09-00-70」)参照

有期懲役受刑者の仮釈放者のうち、刑の執行率80%以上の者10,842人についての刑期別人員は、第24表のとおりである。総数では10,843人(74.7%)、刑期1年以下では890人(83.6%)、2年以下では3,578人(69.0%)、3年以下では3,137人(73.8%)となり、平成20年の総数11,048人(71.4%)と比べて全体的に執行率が上がっている。

第24表 有期懲役受刑者の仮釈放者のうち刑の執行率80%以上の刑期別人員

区分	総 数	刑 期				
		1年以下	2年以下	3年以下	5年以下	5年を超える
有期懲役仮釈放者 うち、刑の執行率 80%以上の人員	14,518	1,064	5,189	4,249	3,108	908
有期懲役仮釈放者 に占める比率	74.7	83.6	69.0	73.8	78.0	89.4

(注) 70表(「09-00-70」)参照

b 無期懲役受刑者

平成21年における無期懲役受刑者のうち仮釈放者6人について、その受刑在所期間は、第25表のとおりである。仮釈放者の平均受刑在所期間は362月（約30年2月）である。

第25表 無期懲役受刑者のうち仮釈放者の受刑在所期間

区分	総数	14年以下	15年以下	16年以下	17年以下	18年以下	19年以下	20年以下	20年を超える
総数 (構成比)	6 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	6 (100.0)

(注) 69表(「09-00-69」)参照

(3) 出所受刑者の刑務作業及び職業訓練など

平成21年における出所受刑者について、その在所時の刑務作業の業種別就業人員は、第26表のとおりである。業種別に見ると、経理作業（刑務所などの自主運営に必要な作業で、炊事、清掃及び看護などの作業）が5,571人(18.4%)と最も多く、次いで、織物製品製造が3,720人(12.3%)、紙細工が3,267人(10.8%)、紙・紙製品製造が3,055人(10.1%)の順となっている。

第26表 出所受刑者の刑務作業の業種別就業人員

業種	人員	構成比	人員の対前年比
総数	30,213	100.0	-4.6
経理作業	5,571	18.4	-2.7
織物製品製造	3,720	12.3	-14.9
紙細工	3,267	10.8	-0.1
紙・紙製品製造	3,055	10.1	-3.4
化学製品製造	3,040	10.1	0.4
金属加工・機械組立修理	2,770	9.2	-11.0
木工	1,102	3.6	-12.2
ゴム・可塑物製品製造	724	2.4	-13.0
電気器具組立修理	598	2.0	-13.3
その他の技能工	544	1.8	9.7
金属材料製造	541	1.8	-13.3
印刷・製本	473	1.6	-11.1
皮革・皮革製品製造	411	1.4	-19.7
単純労働業	343	1.1	28.9
サ－ビス工	189	0.6	47.7
農耕・牧畜	188	0.6	23.7
飲食料品製造	147	0.5	54.7
窯業・土石製品製造	127	0.4	-8.6
その他	3,367	11.1	3.7
不就業	36	0.1	-16.3

(注) 71表(「09-00-71」)参照

平成21年における出所受刑者の職業訓練種目別人員は、第27表のとおりである。総数2,007人（出所受刑者総数の6.6%）のうち、修了者の受講種目の主な内訳を見ると、溶接が157人（7.8%）と最も多く、次いで、ビル設備管理が154人（7.7%）、情報処理が147人（7.3%）、フォークリフト運転が144人（7.2%）、ホームヘルパーが72人（3.6%）の順となっている。

第27表 出所受刑者の職業訓練種目別人員

業種	人員	構成比
総数	2,007	100.0
溶接	157	7.8
ビル設備管理	154	7.7
情報処理	147	7.3
フォークリフト運転	144	7.2
ホームヘルパー	72	3.6
販売	69	3.4
小型建設機械	67	3.3
ビルハウスクリーニング	56	2.8
自動車整備	54	2.7
電気通信設備	51	2.5
左官	38	1.9
理容	38	1.9
農業園芸	33	1.6
建設機械	32	1.6
CAD技術	25	1.2
クリーニング	25	1.2
その他	791	39.4
未修了者	54	2.7

(注) 72表(「09-00-72」)参照

平成21年における出所受刑者が取得した資格・免許の種類別人員は、第28表のとおりである。総数1,316人（出所受刑者総数の4.4%）の資格・免許の主な内訳を見ると、溶接技能者が152人（11.6%）と最も多く、次いで、フォークリフト運転者が141人（10.7%）、ボイラー技師が123人（9.3%）、危険物取扱者が116人（8.8%）、情報処理技術者が79人（6.0%）、車両系建設機械運転技能者が63人（4.8%）の順となっている。

第28表 出所受刑者が取得した資格・免許の種類別人員

種類	人員	構成比
総数	1,316	100.0
溶接技能者	152	11.6
フォークリフト運転者	141	10.7
ボイラー技師	123	9.3
危険物取扱者	116	8.8
情報処理技術者	79	6.0
車両系建設機械運転技能者	63	4.8
ホームヘルパー	47	3.6
電気工事士	41	3.1
理容師	37	2.8
自動車整備士	29	2.2
技能検定・技能照査	26	2.0
パソコン検定	25	1.9
クリーニング師	23	1.7
玉掛技能者	19	1.4
CAD利用技術者	19	1.4
プロ検定	13	1.0
その他	363	27.6

(注) 73表(「09-00-73」)参照

(4) 出所受刑者の帰住先

平成21年における出所受刑者（満期釈放者及び仮釈放者）の出所事由別の帰住先は、第29表のとおりである。総数で見ると、親族のもとが15,737人（52.1%）と最も多く、次いで、更生保護施設等が4,238人（14.0%）、知人のもとが2,202人（7.3%）の順となっている。出所事由別で見ると、満期釈放では、親族のもとが6,159人（40.2%）と最も多く、次いで、知人のもとが1,366人（8.9%）、更生保護施設等が796人（5.2%）となっている。仮釈放では、親族のもとが9,578人（64.5%）、次いで、更生保護施設等が3,442人（23.2%）、知人のもとが836人（5.6%）の順となっている。

第29表 出所受刑者の出所事由別の帰住先

帰住先	総数		満期釈放		仮釈放	
	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)
総数	30,178	100.0	15,324	100.0	14,854	100.0
親族のもと	15,737	52.1	6,159	40.2	9,578	64.5
父,母のもと	9,452	31.3	3,407	22.2	6,045	40.7
配偶者のもと	3,321	11.0	1,312	8.6	2,009	13.5
兄弟,姉妹のもと	1,842	6.1	894	5.8	948	6.4
その他の親族のもと	1,122	3.7	546	3.6	576	3.9
知人のもと	2,202	7.3	1,366	8.9	836	5.6
雇い主のもと	327	1.1	163	1.1	164	1.1
社会福祉施設	143	0.5	125	0.8	18	0.1
更生保護施設等	4,238	14.0	796	5.2	3,442	23.2
その他の	7,531	25.0	6,715	43.8	816	5.5

(注) 83表(「09-00-83」)参照

(5) 出所受刑者の懲罰回数

平成21年における出所受刑者の初入・再入別懲罰回数は、第30表のとおりである。在所時に懲罰を受けた者は16,170人（出所受刑者総数の53.5%）となっている。初入・再入別で見ると、初入で懲罰を受けた者は6,711人（出所受刑者のうち初入者総数の47.6%）であり、再入で懲罰を受けた者は9,459人（出所受刑者のうち再入者総数の58.7%）となっている。

第30表 出所受刑者の初入・再入別懲罰回数

区分	総数	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	なし
総数	30,213	5,985	2,945	1,762	1,217	925	3,336	14,043
(構成比)	(100)	(19.8)	(9.7)	(5.8)	(4.0)	(3.1)	(11.0)	(46.5)
初入	14,098	2,818	1,261	688	467	325	1,152	7,387
(構成比)	(100)	(20.0)	(8.9)	(4.9)	(3.3)	(2.3)	(8.2)	(52.4)
再入	16,115	3,167	1,684	1,074	750	600	2,184	6,656
(構成比)	(100)	(19.7)	(10.4)	(6.7)	(4.7)	(3.7)	(13.6)	(41.3)

(注) 78表(「09-00-78」)参照

5 休養患者 - 被収容者のり病状況

平成21年における休養患者（医師の診断を受けた者のうち、医療上の必要により病室又はこれに代わる室に収容されて治療を受けた者）の人員は、既決拘禁者（受刑者、死刑確定者及び労役場留置者）が16,274人（男15,140人、女1,134人）、未決拘禁者（被告人、被疑者など）が822人（男768人、女54人）である。

このうち、既決拘禁者についての主要病名別転帰事由別人員は、第31表のとおりである。病名別で見ると、呼吸器系の疾患が5,113人（31.4%）と最も多く、次いで、筋骨格系・結合組織の疾患が2,676人（16.4%）、消化器系の疾患が2,242人（13.8%）の順となっている。また、総数を転帰事由別に見ると、治癒又は軽快が14,610人（89.8%）、後遺が508人（3.1%）の順となっている。

なお、休養患者の平均り病日数は、既決拘禁者が47日、未決拘禁者が107日となっている。

第31表 休養患者の主要病名別転帰事由別人員（既決拘禁者）

病名	総数	構成比	総数	転 帰 事 由				
				治癒又は軽快	死亡	未治出所	後遺	その他
総数	16,274	100.0	16,274	14,610	331	390	508	435
			(100.0)	(89.8)	(2.0)	(2.4)	(3.1)	(2.7)
感染症・寄生虫症	532	3.3	532	431	7	23	24	47
			(100.0)	(81.0)	(1.3)	(4.3)	(4.5)	(8.8)
新 生 物	774	4.8	774	401	119	78	61	115
			(100.0)	(51.8)	(15.4)	(10.1)	(7.9)	(14.9)
内分泌、栄養・代謝疾患	238	1.5	238	180	6	24	14	14
			(100.0)	(75.6)	(2.5)	(10.1)	(5.9)	(5.9)
精神・行動の障害	829	5.1	829	536	11	65	175	42
			(100.0)	(64.7)	(1.3)	(7.8)	(21.1)	(5.1)
神経系の疾患	250	1.5	250	220	1	14	12	3
			(100.0)	(88.0)	(0.4)	(5.6)	(4.8)	(1.2)
循環器系の疾患	923	5.7	923	694	92	34	50	53
			(100.0)	(75.2)	(10.0)	(3.7)	(5.4)	(5.7)
呼吸器系の疾患	5,113	31.4	5,113	5,017	34	14	27	21
			(100.0)	(98.1)	(0.7)	(0.3)	(0.5)	(0.4)
消化器系の疾患	2,242	13.8	2,242	2,047	30	46	45	74
			(100.0)	(91.3)	(1.3)	(2.1)	(2.0)	(3.3)
皮膚・皮下組織の疾患	558	3.4	558	537	-	5	8	8
			(100.0)	(96.2)	(-)	(0.9)	(1.4)	(1.4)
筋骨格系・結合組織の疾患	2,676	16.4	2,676	2,624	1	21	20	10
			(100.0)	(98.1)	(0.0)	(0.8)	(0.7)	(0.4)
腎尿路生殖器系の疾患	328	2.0	328	258	7	23	24	16
			(100.0)	(78.7)	(2.1)	(7.0)	(7.3)	(4.9)
損 傷 ・ 中 毒	371	2.3	371	327	16	8	10	10
			(100.0)	(88.1)	(4.3)	(2.2)	(2.7)	(2.7)
そ の 他	1,440	8.8	1,440	1,338	7	35	38	22
			(100.0)	(92.9)	(0.5)	(2.4)	(2.6)	(1.5)

- (注) 1 既決拘禁者について調査したものである。
 2 「未治出所」とは、治癒に至らないうちに満期、仮釈放又は刑の執行停止により出所した者をいう。
 3 「後遺」とは、12月31日現在において未治癒の者をいう。
 4 「その他」とは、他の行刑施設に移送になった者等をいう。
 5 ()内の数字は、各病名に対する転帰事由別構成比である。
 6 87表（「09-00-87」）参照